

リンゴ「ベにこはく」の紹介

福島県農業振興課
平成28年11月

1 特長

- 収穫期が11月中・下旬から12月上旬と、「ふじ」より遅い極晩生種。
- 果実は全面が真紅に着色する。果汁はやや多めで蜜入りはかなり多い。糖度、酸度ともに高く味は濃厚。剥皮後の褐変は「ふじ」に比較して目立たない。
- 果実重は320~340gで、「ふじ」よりやや小ぶり。
- 貯蔵性に優れ、2月からの出荷・販売が可能。
- ジュース、ジャム、菓子などの素材として大いに期待される。

2 育成経過

平成 4年	交配 母 ほおずり 父 陽光
平成 6年	播種・実生個体を育成し48個体を定植
平成12年	初結実、1次選抜開始
平成17年	保存系統として選抜
平成20年	注目系統として選抜
平成21年	「リンゴ福島6号」の番号を付与
平成22年	現地試作開始
平成26年	栽培特性及び普及性を調査 育成完了



果実



果実の断面



試作加工品

3 命名に至る経緯（農林水産部内等の選考を経て知事が名称決定）

名称を公募したところ「外観が濃い紅色で、果肉には琥珀色の蜜がたくさん入ることから「紅琥珀」と名付けたい。」との提案があった。品種の特徴を的確に表していることから、この提案を品種名称とした。なお、読みやすく柔らかい印象を持っていただくため、ひらがな表記とした。